

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	すたぁりっと 東住吉		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 6日		令和8年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		令和8年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイという形でSST・社会スキル特化型トレーニングを用いたコミュニケーション能力訓練を行っている ・経験豊富・専門職の有資格者が多い 	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの場でもあるが利用者本人に考える時間を与えスキルを身に付けることができるような支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・より、職員間の共有やフィードバックを行い職員の支援力や視野を広げた関わり方ができるようにしている ・利用者ごとの特性に合わせた支援を行う為にも研修を行いさらにスキルアップができる環境を整えいく
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ロールプレイの取り組みの成果や実践できる機会に外出訓練や買い物訓練などを通じてイベントを実践している 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が企画したイベントを職員と一緒に考え実施している ・ロールプレイで行っている社会スキルと繋ぎイベントの外出訓練や買い物訓練などを通じて利用者が楽しんでもらえるような企画をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックを行いより楽しめる企画を考えている
3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との情報共有が適度に行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ・共有が必要な場合があれば電話やラインでスムーズに情報共有を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化があれば都度連絡を取って信頼関係を築くようにしていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流の場を設けることが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションの一階にあるので住人の方に迷惑がかからないか心配である ・地域との連帯が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会と連携をとってボランティア活動に出向くことができるように日々連携をとる
2	<ul style="list-style-type: none"> ・親子での交流の場がない 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所のスペースの関係で保護者様に入っただくことが難しいことがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い時間でも保護者の方に様子をみにきてもらいたいと考えている
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 すたありっと 東住吉

公表日 2026年2月28日

利用児童数 50名

回収数 38

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2		2	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	33	1		4	・ちょうどいい人数だと思っている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35	2		1	・わが子はそう感じている
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	1		1	・事業所へ伺う際はいつも、きれいな空間にしている
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	3			・こどもに日々たくさんの変化がみられているのでそう感じています
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	36			2	・こどもに日々たくさんの変化がみられているのでそう感じています
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37			1	・モニタリングにて聞き取りして下書き作成されている ・いつも、期待以上の支援計画を立てていただいています
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	1		1	・とても、細かく具体的に提示して説明もわかりやすくしていただいております
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37	1			・そのように感じております
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	1			・同じ曜日でもプログラム内容を考えてくださっている ・そのように感じております
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	16	5	6	11	・系列だけでなく東住吉区の放課後等デイの子どもの交流があればよい ・しっかりと説明とともに機会を設けていただいています
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	3		1	・わかりやすく伝えていただいています
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1		1	・たくさんの資料と共にお話くださっています
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17	7	5	9	・親子で事業所のイベント参加ができたらと思う
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37	1			・面談や送迎の時に様子を知らせてくれる
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	3			・しっかり時間をとって行っていただいております ・以前は進路や子育てについてのことを多く助言してくれる職員がおられたこともある。 ・職員の経験差等により、助言内容にも個々に差は出てくるが、職員間で話し合っ助言を行っていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	2		3	・一部の職員がそうでないと感じている ・わが子のようにみてくださっているなどありがたいと感じています ・職員会議や日々の関わりを通じて支援状況や情報を共有していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	11	6	8	13	・このような活動に関しまして私は確認していません
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	34	3		1	・ラインや電話・時には自宅まで足を運んでご対応いただいています
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	33		2	3	・ラインでのご連絡がよくありこちらも伝えやすいです

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	28	2	2	6	・SNS等はあまり確認しておりません	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			4	・不安に感じたことはありません	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	2		9	・こちらからも伝え聞き、色々と準備されているのだと思っています	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	33	3		2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	5		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	3	1	4	・すぐにお電話いただき詳しいお話を伺ってます	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	35	2		1	・家では話せないことを通所時に話したりとても、安心できる場所のようです	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	33	5			・イベントなどは楽しみにしている	
	29	事業所の支援に満足していますか。	35	2		1	・こちらに通わせていただいていたと日々感じております	

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		すたぁりっと 東住吉		公表日		2026年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		・床がめくれている箇所にはテープを貼っている（躓きや転倒防止の為）	・トイレの便座が古くなっているので交換することが望ましい。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・評価表を共有し改善点に向けて話し合いを行っている			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		・毎日、朝礼及び終礼を行い業務の連絡事項・改善点など話をしている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・社内での能力開発や意欲向上に繋げている。月ごとに決められた研修を行っている			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		・「最善の利益」「本人にとって最もよい形」を考慮した上で検討を行っている			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		・項目に沿って支援内容を設定している			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6					
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6					

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		・子どもの特性や年代に応じて必要な社会スキルの習得のために個別活動と集団活動を適宜組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			・その日の状況で時間を掛けて打ち合わせする事ができない事がある
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		・毎日、終礼を行い職員間で共有している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			・その日の記録ができない事はあるが翌日には記録を取るようになっている
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		・一例として職員から答えを導くのではなく自ら自己決定ができるように待つことも大事にしている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		・交流の機会の場があればイベントなどで参加することはあるが積極的な活動はない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		・保護者からの相談があれば対応している	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			・苦情があった場合はその日に適切に対応している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			・スケジュールが決まった時点で保護者及び利用者に発信している。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	2		・保護者からの情報のみで医師の指示書はない ・契約の際に細かく聞き取っている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			・ヒヤリハット事例検討会を定期的に行っている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6				